

祝 辞

森羅万象に清新の気が満ちあふれている今日の佳き日に、崇城大学並びに大学院に入学した、新入生の皆さん、入学おめでとう。教職員一同、希望に満ち溢れ、大きな志を抱いて、入学してきた皆さんを、心から祝福します。

保護者の皆様、お子様のご入学、誠におめでとうございます。入学されたお子様を、教職員一同、心から歓迎し、保護者の皆様のご期待に応えるべく責任を持って教育して参ります。

さて、学部新入生の皆さん、入学おめでとう。本学は、皆さんの夢や希望を叶えるために、充実した施設設備の学習環境を整えるとともに、世界に名をなす素晴らしい先生方が、皆さんを温かい心で迎え、一生懸命教授させていただきます。

新入生の皆さんは、高校時代の3年間、コロナウイルス感染症の影響により、日常生活は勿論のこと、学校における就学環境についても様々な制約を受けて来られました。誠に残念な状況であったと拝察しております。その分、これから始まる本学での学園生活では、伸び伸びと自由に楽しく活躍できるよう、我々も精一杯努力してまいりたいと思っております。

また、厳しい選考試験に合格し、晴れて大学院に進学する皆さん、進学おめでとう。学部教育の上に、更に専門的な知識や技術を極めようとしている、皆さんの志の高さに衷心より敬意を表します。学部時代の研究が更に大きく飛躍するよう期待しております。

ところで、皆さんを取り巻く社会は、国が「ソサイエティー5.0」社会と呼んでいるように、サイバー空間(仮想空間)とフィジカル空間(現実空間)が高度に融合した、いわゆる、近未来的社会を迎えようとしています。即ち、IOT(Internet of Things)や人工知能 AI が普及し、十数年後、今ある仕事の半数は無くなり、今は存在しない仕事は半数以上を占める社会になると言われています。いわゆる、デジタル化が急速に進むことにより、社会システムが大きく変わることを意味しており、まさに、新時代の到来を予測するものであります。では、その新時代を誰が創出し、築き上げていくのでしょうか。実は、世の中全体が大きく動くとき、また社会の価値観が大きく変化するとき、そのエンジンは常に若者が担ってきました。多様で理想的な未来創出のためには、若者一人ひとりの積極的な参画が極めて重要であり、若い皆さんの力が強く求められているのです。是非、未来課題への取り組み

に参画してください。新時代の担い手は皆さん自身であります。皆さん自身が、イノベーターとして、未来社会を構築していくことになるのです。皆さんには無限の可能性があります。しっかりとした心構えを持って、自分のやりたい夢や目標を見つけ、努力すれば必ずやイノベーターになることができますと思います。その心構えは、ただ一つ、自ら積極的に学ぼうとする姿勢を持つことであります。GAFA(ガーファ)のような、世界の先端的大企業の多くが、人材に求める能力として、『学力』を最も重視すると言っています。高校までは受け身の授業が多かったと思いますが、大学では何を学びたいのか皆さん自身が自分で決めなければなりません。本来、学問とは自ら問い、自ら学ぶことであり、皆さん自身が主体的に課題を見つけ、その課題に真摯に取り組むことが肝要であります。本学は、様々なプログラムやアクティビティを準備し、皆さんを一生懸命サポートさせていただきます。皆さんには瑞々しい好奇心を常にフル回転し、あらゆることにアグレッシブに挑戦してほしいと願っています。多くの人たちと「わいわい、がやがや」話し合うことがとても重要であります。皆さんが自ら問い、自ら学ぶ積極的な姿勢を続けていけば、何時しか生きる力や自律心が身についていきます。そして、楽しい夢や目標を描くことができ、未知の世界を切り拓く力が必ずや備わっていくものと確信しています。

アップルのスティーブ・ジョブズ氏やグーグルのラリー・ペイジ氏、セルゲイ・ブリン氏、メタのマーク・ザッカーバーグ氏などは、学生時代に起業し、その会社を十年程で世界のトップ企業に成長させました。アメリカのシリコンバレーにはそのようなベンチャー企業がひしめいています。新しい時代を切り開くのは、間違いなく、若き皆さん達自身であります。是非、皆さんお一人おひとりがイノベーションを起こす存在になるよう期待したいと思います。そのためにも、本学において、自ら学ぶ姿勢を着実に築いてください。人生は一度きりしかありません。自分がやりたいことをしっかり見つけ、クリエイティブに実践しながら夢を掴んでください。創造性を高め、何かを新たに生み出すことは、とても楽しいことであり、遣り甲斐があります。ワクワク、ドキドキするような素晴らしい人生の第一歩を、ここ崇城大学から始めていただくよう願っています。

時に、皆さんにお願いしたいことが、もう一つあります。それは、「人への思い遣りを持った優しい心を育てていただきたい」ということであります。

今や、現代の情報化時代を俯瞰してみると、それは正に疑似体験の世界だと言われることがあります。現代人は、昔の人に比べ、自分で実際に体験するよりも、テレビや SNS 等を通じて、他人の体験を、情報媒体の中で疑似体験することが多くなっているように思います。これらは、いわゆるバーチャルな、虚構の世界であります。虚構世界では、人の本当の温もりを感じることはできません。虚構世界は、

人との繋がりを薄くします。皆さんが多くの人に支えられ今日の日を迎えることができたように、人は、人に支えられ生きているのです。従って、人は、人に感謝し、人のために生きようとしています。人の優しさ、温かさに触れたとき、人は大きな感動を覚えます。人に感謝されれば、心が満たされます。疑似体験では経験できないことでもあります。そこで皆さんにお願いしたいことは、本学において、課外活動やボランティア活動など「実体験」にアグレッシブに取り組んでいただきたいということです。様々なアクティビティを通じて人を思い遣ることの大切さを感じ、また、多くの人達とのコミュニケーションを通して、人の温かさを感じて欲しいと願っています。人を大切にする心は最も崇高な精神なのであります。

最後になりますが、崇城大学の理想は、「学生の皆さんが活き活きとして、日本一、笑顔あふれる大学になる」ことでもあります。どうか、皆さんは、これからの本学での学園生活において、多くの友人達と切磋琢磨し、元気に、楽しく、自分の個性を伸ばしていただきたいと思います。

崇城大学は、皆さんを鍛える道場であります。この道場での厳しい修業を通して、皆さんが自らを磨き、大きく、大きく成長してくれることを期待し、祝辞といたします。

令和六年四月五日

学校法人 君が淵学園
理事長 中山峰男